

# 脳神経外科学講座

## Neurosurgery

教授	遠藤 俊郎	Shunro Endo
准教授	桑山 直也	Naoya Kuwayama
講師	栗本 昌紀	Masanori Kurimoto
講師	林 央周	Nakamasa Hayashi
助教	浜田 秀雄	Hideo Hamada
助教	永井 正一	Shoichi Nagai
助教	山本 博道	Hiromichi Yamamoto
助教	梅村 公子	Kimiko Umemura
助教	秋岡 直樹	Naoki Akioka
助教	竹内 幹伸	Mikinobu Takeuchi
助教(前)	岡本 宗司	Soshi Okamoto
助教(前)	壺井 祥史	Yoshifumi Tsuboi
助教(前)	高沢 弘樹	Hiroki Takazawa
技術専門職員	中山八州男	Yasuo Nakayama

### ◆ 著 書

- 1) 遠藤俊郎：t-PA 登場による脳梗塞急性期外科治療の変化。「抗凝固薬の適正な使い方（第2版）」櫻川信男，他編集，405-412，医歯薬出版，東京，2008.
- 2) 林 央周，遠藤俊郎：脳梗塞の慢性期治療（CEA, Stent）。「脳卒中診療 こんなときどうする Q&A」棚橋紀夫，他編集，204-208，中外医学社，東京，2008.
- 3) 桑山直也：脳出血（脳血管奇形）。「必携 脳卒中ハンドブック」田中耕太郎，高島修太郎編集，93-97，診断と治療社，東京，2008.
- 4) 遠藤俊郎：外科的治療（虚血性脳卒中の外科的治療）。「必携 脳卒中ハンドブック」田中耕太郎，高島修太郎編集，271-277，診断と治療社，東京，2008.
- 5) 栗本昌紀，永井正一，上山浩永，旭 雄士，黒崎邦和，林 央周，高岩亜輝子，遠藤俊郎：Eloquent area 近傍の悪性神経膠腫における覚醒下手術の意義。「脳腫瘍の外科-基本と挑戦-」甲村英二編，44-48，メディカ出版，大阪，2008.

### ◆ 原 著

- 1) Hayashi N., Kurimoto M., Kubo M., Kuwayama N., Kurosaki K., Nagai S., Endo S.: The impact of cavernous sinus drainage pattern on the results of venous sampling in patients with suspected cushing syndrome. *AJNR*, 29: 69-72, 2008.
- 2) Umemura K., Hirashima Y., Kurimoto M., Kuwayama N., Kubo M., Origasa H., Doshi M., Endo S.: Involvement of meteorological factors and sex in the occurrence of subarachnoid hemorrhage in Japan. *Neurol Med Chir*, 48: 101-107, 2008.
- 3) Hori E., Hayashi N., Hamada H., Masuoka T., Kuwayama N., Hirashima Y., Origasa H., Ohtani O., Endo S.: A development of atheromatous plaque is restricted by characteristic arterial wall structure at the carotid bifurcation. *Surgical Neurology*, 69: 586-591, 2008.
- 4) Hayashi N., Kurimoto M., Hamada H., Kurosaki K., Endo S., Alan R. Cohen: Preparation of a simple and efficient laboratory model for training in neuroendoscopic procedures. *Childs Nerv Syst*, 24: 749-751, 2008.
- 5) Hayashi N., Kurimoto M., Nagai S., Sato H., Hori S., Endo S.: Tentorial incision in a lateral-medial direction with minimal retraction of the temporal lobe in the subtemporal transtentorial approach to the middle tentorial incisural space. *Minim Invas Neurosurg*, 51: 340-344, 2008.
- 6) Hamada H., Hayashi N., Kurimoto M., Umemura K., Nagai S., Kurosaki K., Kuwayama N., Endo S.: Neuroendoscopic removal of intraventricular hemorrhage combined with hydrocephalus. *Minim Invas Neurosurg*, 51: 345-349, 2008.
- 7) Takeuchi M., Hayashi N., Hamada H., Matsumura N., Hirashima Y., Origasa H., Ohtani O., Endo S.: A new training method to improve deep microsurgical skills using a mannequin head. *Microsurgery*, 28: 168-170, 2008.
- 8) 西村真実，高沢弘樹，井上智夫，沼上佳寛，林 央周，西嶋美知春，緑川 宏：急性期破裂脳動脈瘤における不完全

初回治療に対する追加治療法の選択-clipping か coiling か-. 脳卒中の外科, 36: 1-6, 2008.

- 9) 林 央周, 堀恵美子, 秋岡直樹, 松村内久, 栗本昌紀, 桑山直也, 遠藤俊郎: 高位頸動脈狭窄病変に対する頸動脈血栓内膜剥離術の問題点と手術手技. 脳卒中の外科, 36:163-167, 2008.
- 10) 旭 雄士, 中道尚美, 浜田秀雄, 高岩亜輝子, 林 央周, 遠藤俊郎, 高嶋修太郎, 田中耕太郎: パーキンソン病に対する両側視床下核刺激療法による認知機能および精神機能の変化の検討. 機能的脳神経外科, 47:94-95, 2008.

#### ◆ 症例報告

- 1) Hamada H., Kurimoto M., Hayashi N., Nagai S., Kurosaki K., Nomoto K., Kanegane H., Nomura K., Endo S.: Pilomyxoid astrocytoma in a patient presenting with fatal hemorrhage. J Neurosurg Pediatrics. 1: 244-246, 2008.
- 2) Kurimoto M., Mizumaki Y., Fukuda O., Hayashi N., Kuwayama N., Endo S.: Giant plexiform neurofibroma and suboccipital meningocele manifesting as segmental neurofibromatosis. Neurol Med Chir, 48: 271-274, 2008.
- 3) 堀 聡, 福田 修, 小山新弥, 亀田 宏, 高橋輝行, 遠藤俊郎: 頭部 MRI で異常信号を呈し, Bickerstaff 型脳幹脳炎と考えられた 1 例. BRAIN and NERVE, 60: 287-290, 2008.
- 4) 黒崎邦和, 林 央周, 浜田秀雄, 梅村公子, 栗本昌紀, 遠藤俊郎: 静脈角に付着部を有した乳児第 3 脳室脈絡叢乳頭腫の 1 例-神経内視鏡所見を交えて-. 小児の脳神経, 33: 318-322, 2008.
- 5) 永尾征弥, 栗本昌紀, 永井正一, 黒崎邦和, 竹内幹伸, 旭 雄士, 遠藤俊郎: ヘルニア裂孔拡大術とパッチ法を合わせて施行した特発性脊髄ヘルニアの 1 例. 脊髄外科, 22: 28-32, 2008.
- 6) 栗本昌紀, 上山浩永, 永井正一, 山本博道, 林 央周, 遠藤俊郎: チタニウムケージによる頸椎前方除圧固定術とリン酸カルシウムペーストを用いた椎体形成術を同時に行った高齢者の一例. 脊髄外科, 22: 101-105, 2008.

#### ◆ 総 説

- 1) 遠藤俊郎: 頸動脈アテロームプラーク病変の形態・組織所見の特徴と内膜剥離術: CEA の意義. ブレインレスキュー, 18: 3-6, 2008.
- 2) 桑山直也: 硬膜動静脈瘻の分類と診断. 脳と神経, 60: 887-895, 2008.
- 3) 遠藤俊郎: 頸動脈狭窄症をどう扱うか?-CEA の立場から-. Clinical Neuroscience, 26: 924-925, 2008.
- 4) 栗本昌紀, 遠藤俊郎: 覚醒下手術における手術室看護師の Do's & Don'ts -すべきこと, すべきでないこと-. 月刊実践手術看護, 2: 38-44, 2008.
- 5) 久保道也, 堀江幸男, 林 央周, 桑山直也, 遠藤俊郎: 頭蓋底静脈の読影-Venous Cross Road の重要性を中心に-. 脳神経外科ジャーナル, 17: 745-753, 2008.
- 6) 山本博道, 桑山直也: 静脈洞血栓症. 分子脳血管病, 7: 186-190, 2008.
- 7) 福田 修, 遠藤俊郎: 各スポーツでの頭部外傷の現状と対策-スキー・スノーボード-. 臨床スポーツ医学, 25: 345-350, 2008.

#### ◆ 学会報告

- 1) Kuwayama N., Sakai N., Ogasawara K., Members of JASTNEC: Hyperperfusion syndrome following carotid revascularization - National survey by JASTNEC-. The 8th Meeting of the Asian-Australasian Federation of Interventional and Therapeutic Neuroradiology, 2008, 4, 5-8, Taipei.
- 2) Hayashi N., Endo S., Alan R Cohen: Preparation of a simple and efficient laboratory model for training in neuroendoscopic procedures. 2008 AANS Annual Meeting, 2008, 4, 26- 5, 1, Chicago.
- 3) Kuwayama N., Endo S.: JCAS : National registry of carotid revascularization. 4th Euprorean Japanese Joint Conference on Stroke Surgery in Helsinki, 2008, 7, 4-6, Finland.
- 4) Kuwayama N., Sakai S., Ogasawara K.: National survey on hyperperfusion syndrome after carotid revascularization. 4th Euprorean Japanese Joint Conference on Stroke Surgery in Helsinki, 2008, 7, 4-6, Finland.
- 5) Hayashi N., Kurimoto M., Kubo M., Kuwayama N., Endo S.: Importance of understanding drainage patterns of the cavernous sinus for venous sampling in patients with Cushing's syndrome. 19th Annual Meeting North American Skull Base Society, 2008, 9, 11-14, Vancouver.
- 6) Kuwayama N.: Flow dynamics and treatment of intracranial dural AVF. WFNS Education Course, 2008, 12, 6, Taipei.
- 7) 旭 雄士, 中道尚美, 浜田秀雄, 高岩亜輝子, 林 央周, 遠藤俊郎, 高嶋修太郎, 田中耕太郎: パーキンソン病に対する両側視床下核刺激療法による認知機能及び精神機能の変化の検討. 第 47 回日本定位機能神経外科学会, 2008,

1, 25-26, 浜松.

- 8) 柴田 孝, 松村内久, 久保道也, 堀江幸男, 林 央周, 栗本昌紀, 桑山直也, 遠藤俊郎, 武者利光, 松崎晴康: 脳波のゆらぎで神経活動を可視化する新しい解析手法. 第 31 回日本脳神経 CI 学会総会, 2008, 2, 21-22, 東京.
- 9) 林 央周, 永井正一, 浜田秀雄, 栗本昌紀, 遠藤俊郎: 鞍上部 dermoid cyst の 1 手術例: 残存 cyst 内容部分の経時的変化. 第 18 回日本間脳下垂体腫瘍学会, 2008, 2, 29-3, 1, 福井.
- 10) 秋岡直樹, 桑山直也, 久保道也, 山本博道, 遠藤俊郎, 津村貢太郎, 岩井良成: 認知症を主症状とし, 治療後に改善を示した硬膜動静脈瘻症例の検討. 第 21 回日本老年脳神経外科学会, 2008, 3, 8, 東京.
- 11) 遠藤俊郎, 林 央周, 桑山直也: 頸動脈内膜剥離術の基本手技とコツ. 第 37 回日本脳卒中の外科学会, 2008, 3, 20-22, 京都.
- 12) 桑山直也: 硬膜動静脈瘻の血管内治療. 第 37 回日本脳卒中の外科学会, 2008, 3, 20-22, 京都.
- 13) 桑山直也, 堀江幸男, 遠藤俊郎: コイル治療を促進するために何が必要か (地方の試み). 第 37 回日本脳卒中の外科学会, 2008, 3, 20-22, 京都.
- 14) 林 央周, 秋岡直樹, 高沢弘樹, 堀 恵美子, 高岩重輝子, 桑山直也, 遠藤俊郎: 頸動脈内膜剥離術後の高次脳機能変化に関する長期経過観察. 第 37 回日本脳卒中の外科学会, 2008, 3, 20-22, 京都.
- 15) 松村内久, 柴田 孝, 梅村公子, 栄楽直人, 宮島 謙, 久保道也, 堀江幸男, 林 央周, 浜田秀雄, 遠藤俊郎: 脳血管吻合の手技訓練のための練習カード: Microvascular Practice Card. 第 37 回日本脳卒中の外科学会, 2008, 3, 20-22, 京都.
- 16) 山本博道, 桑山直也, 久保道也, 野口 京, 瀬戸 光, 遠藤俊郎: 硬膜動静脈瘻症例の外来診療における dynamic MRA の有用性. 第 37 回日本脳卒中の外科学会, 2008, 3, 20-22, 京都.
- 17) 高沢弘樹, 林 央周, 秋岡直樹, 堀 恵美子, 高岩重輝子, 桑山直也, 遠藤俊郎: 頸動脈内膜剥離術後早期における高次脳機能低下の原因に関する検討. 第 37 回日本脳卒中の外科学会, 2008, 3, 20-22, 京都.
- 18) 秋岡直樹, 林 央周, 浜田秀雄, 山本博道, 佐藤 光, 桑山直也, 遠藤俊郎: occipito-vertebral anastomosis を有する症例における CEA の工夫. 第 37 回日本脳卒中の外科学会, 2008, 3, 20-22, 京都.
- 19) 梅村公子, 松村内久, 柴田 孝, 宮島 謙, 栄楽直人, 久保道也, 堀江幸男: 小脳橋角部脳動静脈奇形の二例. 第 37 回日本脳卒中の外科学会, 2008, 3, 20-22, 京都.
- 20) 久保道也, 堀江幸男, 松村内久, 柴田 孝, 梅村公子, 栄楽直人, 宮島 謙, 桑山直也, 遠藤俊郎: 頸動脈ステント術前患者における CTA を用いた大動脈評価の有用性-コレステリン塞栓症予防の観点から-. 第 33 回日本脳卒中学会, 2008, 3, 20-22, 京都.
- 21) 秋岡直樹, 桑山直也, 久保道也, 山本博道, 遠藤俊郎, 津村貢太郎, 岩井良成: 認知症を主症状とし, 治療後に改善を示した硬膜動静脈瘻. 第 33 回日本脳卒中学会, 2008, 3, 20-22, 京都.
- 22) 山本博道, 桑山直也, 早川由美子, 久保道也, 遠藤俊郎: 脳血管内治療患者の全血血小板凝集能の検討. 第 33 回日本脳卒中学会, 2008, 3, 20-22, 京都.
- 23) 柴田 孝, 梅村公子, 松村内久, 久保道也, 堀江幸男, 林 央周, 桑山直也, 遠藤俊郎, 武者利光, 松崎晴康: 脳波のゆらぎで神経活動を可視化する新しい解析手法-脳梗塞への応用-. 第 33 回日本脳卒中学会, 2008, 3, 20-22, 京都.
- 24) 林 央周, 浜田秀雄, 黒崎邦和, 栗本昌紀, 桑山直也, 佐藤 光, 遠藤俊郎: 解剖体脳を用いた内視鏡的脳室内手術トレーニングモデルの作製法. 第 17 回脳神経外科手術と機器学会, 2008, 4, 11-12, 長崎.
- 25) 佐藤 光, 林 央周, 浜田秀雄, 栗本昌紀, 遠藤俊郎: 整容的見地から考察した冠状切開および術後創管理の工夫. 第 17 回脳神経外科手術と機器学会, 2008, 4, 11-12, 長崎.
- 26) 堀 聡, 林 央周, 永井正一, 福岡順也, 佐藤 光, 栗本昌紀, 遠藤俊郎: 血管周皮腫および髄膜腫との術前鑑別が困難であった血管芽腫の 1 例. 第 74 回日本脳神経外科学会中部支部学術集会, 2008, 4, 19, 愛知.
- 27) 福田 修, 小山新弥, 小原太郎, 亀田 宏, 遠藤俊郎: スキー頭部外傷例の臨床的特徴に関する経年的検討-過去 15 シーズン 1296 例の検討-. 第 31 回日本神経外傷学会, 2008, 4, 25-26, 大阪.
- 28) 久保道也, 堀江幸男, 林 央周, 桑山直也, 遠藤俊郎: 頭蓋底静脈の読影-静脈吻合路の重要性を中心に. 第 28 回日本脳神経外科コンgres総会, 2008, 5, 9-11, 横浜.
- 29) 永井正一, 尾矢剛志, 浜田秀雄, 野本一博, 栗本昌紀, 遠藤俊郎: 脳室発生の高悪性度紡錘形細胞腫瘍の一例, 第 26 回日本脳腫瘍病理学会, 2008, 5, 23-24, 東京.
- 30) 浜田秀雄, 桑山直也, 久保道也, 山本博道, 林 央周, 栗本昌紀, 遠藤俊郎: 小児脳・硬膜動静脈瘻の臨床像: 自験 5 例の検討. 第 36 回日本小児神経外科学会, 2008, 5, 29-30, 東京.

- 31) 高岩重輝子\*, 栗本昌紀, 永井正一, 林 央周, 遠藤俊郎: 左側頭葉切除後に人名呼称障害を呈した2例. 第10回日本ヒト脳機能マッピング学会, 2008, 6, 6-7, 山形.
- 32) 栗本昌紀, 朴木秀治, 竹内幹伸, 上山浩永, 永井正一, 林 央周, 田中 信, 遠藤俊郎: 高齢者頸椎変形疾患の手術合併症とその対策. 第23回日本脊髄外科学会, 2008, 6, 12-13, 松島.
- 33) 原田 淳, 上山浩永, 栗本昌紀, 西村真実, 西嶋美知春, 遠藤俊郎: 胸郭出口症候群に対する手術法と術後成績についての検討. 第23回日本脊髄外科学会, 2008, 6, 12-13, 松島.
- 34) 永尾征弥, 栗本昌紀, 竹内幹伸, 西尾陽一, 浜田秀雄, 林 央周, 山本博道, 遠藤俊郎: Hematomyeliaにより急速に四肢麻痺となった頸髄海綿状血管腫の1例. 第23回日本脊髄外科学会, 2008, 6, 12-13, 松島.
- 35) 桑山直也: 頸動脈治療の update. 第7回日本頸部脳血管内治療学会, 2008, 6, 13-14, 長崎.
- 36) 遠藤俊郎, 桑山直也, 林 央周: 無症候性頸動脈狭窄の外科的治療: 適応と戦略. 第7回日本頸部脳血管内治療学会, 2008, 6, 13-14, 長崎.
- 37) 山本博道, 桑山直也, 久保道也, 津村貢太郎, 新井政幸, 栄楽直人, 遠藤俊郎: Angioguard XPの初期成績と Guardwireとの比較. 第7回日本頸部脳血管内治療学会, 2008, 6, 13-14, 長崎.
- 38) 高岩重輝子\*, 桑山直也, 林 央周, 秋岡直樹, 遠藤俊郎: 無症候性頸動脈狭窄症における認知機能-無症候性頸動脈狭窄症は無症候か?-. 第7回日本頸部脳血管内治療学会, 2008, 6, 13-14, 長崎.
- 39) 林 央周, 永井正一, 浜田秀雄, 栗本昌紀, 遠藤俊郎: Supraorbital approach で亜全摘術を行なった鞍上部 dermoid cystの1例. 第20回記念日本頭蓋底外科学会, 2008, 7, 7-8, 東京.
- 40) 林 央周, 永井正一, 栗本昌紀, 佐藤 光, 堀 聡, 遠藤俊郎: 部分的錐体骨後方削除を追加した側頭下到達法による小脳テント髄膜腫摘出術. 第20回記念日本頭蓋底外科学会, 2008, 7, 7-8, 東京.
- 41) 遠藤俊郎: 脳血管障害の外科治療 Update「頸動脈狭窄とCEA」. 第11回日本病院脳神経外科学会, 2008, 7, 19-20, 札幌.
- 42) 桑山直也, 久保道也: 臨床に役立つ後頭蓋窩静脈の読み方-venous cross roadの重要性を中心に-. 第9回近畿脳神経血管内治療学会, 2008, 9, 5-6, 神戸.
- 43) 桑山直也, 遠藤俊郎: JCASの結果とフィルター承認後の初期成績. 第9回近畿脳神経血管内治療学会, 2008, 9, 5-6, 神戸.
- 44) 遠藤俊郎, 桑山直也, 林 央周: 頸部頸動脈高度狭窄症に対するCEA/CAS治療の現状: JCAS研究より. 社団法人日本脳神経外科学会第67回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 45) 福田 修, 小山新弥, 小原太郎, 林 央周, 栗本昌紀, 遠藤俊郎: スノーボード, スキー頭部外傷による死亡例の臨床的検討. 社団法人日本脳神経外科学会第67回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 46) 小山新弥, 福田 修, 小原太郎, 齋藤隆景, 林 央周, 栗本昌紀, 遠藤俊郎: スノーボード頭部外傷の初心者と中・上級者における臨床象の相違-過去9シーズン2366例の検討-. 社団法人日本脳神経外科学会第67回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 47) 高岩重輝子\*, 桑山直也, 林 央周, 秋岡直樹, 遠藤俊郎: 無症候性頸動脈狭窄症における認知機能-無症候性頸動脈狭窄症は無症候か?-. 社団法人日本脳神経外科学会第67回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 48) 富田隆浩, 林 央周, 栗本昌紀, 高沢弘樹, 佐藤 光, 岡部素典, 吉田淑子, 二階堂敏雄, 遠藤俊郎: ヒト乾燥羊膜の頭蓋硬膜再建材料としての有用性に関する基礎的検討. 社団法人日本脳神経外科学会第67回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 49) 岡本宗司, 桑山直也, 山本博道, 久保道也, 堀江幸男, 秋岡直樹, 津村貢太郎, 遠藤俊郎: 根治困難な横・S状静脈洞部硬膜動静脈瘻. 社団法人日本脳神経外科学会第67回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 50) 久保道也, 堀江幸男, 松村内久, 柴田 孝, 栄楽直人, 黒崎邦和, 永尾征弥, 桑山直也, 遠藤俊郎: 脳卒中センター開設後(血管内治療導入後)における前交通動脈瘤治療. 社団法人日本脳神経外科学会第67回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 51) 原田 淳, 西尾陽一, 西村真実, 栗本昌紀, 西嶋美知春, 遠藤俊郎: 胸部出口症候群に対する各種手術法の比較. 社団法人日本脳神経外科学会第67回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 52) 松村内久, 柴田 孝, 永尾征弥, 黒崎邦和, 栄楽直人, 久保道也, 堀江幸男, 林 央周, 浜田秀雄, 遠藤俊郎: 超微小血管外科技術を用いたバイパス術. 社団法人日本脳神経外科学会第67回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 53) 林 央周, 永井正一, 栗本昌紀, 佐藤 光, 桑山直也, 遠藤俊郎: テント切痕部病変へのアプローチ: 側頭下到達法における側頭葉圧排を最小限にする工夫. 社団法人日本脳神経外科学会第67回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 54) 平島 豊, 道志 勝, 吉田康一, 栗本昌紀, 遠藤俊郎: 脳血管攣縮患者CSF中の酸化ストレスマーカー, 8-イソプ

ロスタグランジン F2 $\alpha$  と PAF-アセチルヒドロラーゼ活性の測定. 社団法人日本脳神経外科学会第 67 回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.

- 55) 栗本昌紀, 永井正一, 壺井祥史, 旭 雄士, 林 央周, 高岩亜輝子, 桑山直也, 遠藤俊郎: 覚醒下手術における negative mapping strategy の有用性. 社団法人日本脳神経外科学会第 67 回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 56) 旭 雄士, 中道尚美, 浜田秀雄, 高岩亜輝子, 林 央周, 遠藤俊郎, 高嶋修太郎, 田中耕太郎: パーキンソン病に対する両側視床下核刺激術の認知機能および精神機能への影響. 社団法人日本脳神経外科学会第 67 回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 57) 佐藤 光, 林 央周, 浜田秀雄, 栗本昌紀, 壺井祥史, 遠藤俊郎: 市販シャンプーを用いた手術室での洗髪と術後創部感染の検討. 社団法人日本脳神経外科学会第 67 回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 58) 黒崎邦和, 林 央周, 浜田秀雄, 松村内久, 堀江幸男, 遠藤俊郎: 神経内視鏡的脳室内手術トレーニングモデルの作製法. 社団法人日本脳神経外科学会第 67 回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 59) 柴田 孝, 永尾征弥, 黒崎邦和, 榮楽直人, 松村内久, 久保道也, 堀江幸男, 林 央周, 栗本昌紀, 桑山直也, 遠藤俊郎, 武者利光, 松崎晴康: 皮質梗塞に対する局所的脳機能低下度表示法 L-DIMENSION を用いた神経活動の評価-視床血流との比較検討-. 社団法人日本脳神経外科学会第 67 回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 60) 山本博道, 桑山直也, 久保道也, 岡本宗司, 栗本昌紀, 遠藤俊郎: 痙攣にて発症した硬膜動静脈瘻症例の検討. 社団法人日本脳神経外科学会第 67 回学術総会, 2008, 10, 1-3, 盛岡.
- 61) 栗本昌紀, 永井正一, 浜田秀雄, 林 央周, 高岩亜輝子, 遠藤俊郎: Atypical language dominance を有する 2 症例における awake surgery と negative language mapping. 第 13 回日本脳腫瘍の外科学会, 2008, 10, 20-21, 大阪.
- 62) 林 央周, 佐藤 光, 堀 聡, 栗本昌紀, 遠藤俊郎: 小脳テント切痕部髄膜腫に対する手術アプローチの選択. 第 13 回日本脳腫瘍の外科学会, 2008, 10, 20-21, 大阪.
- 63) 柴田 孝, 松村内久, 久保道也, 堀江幸男, 高岩亜輝子, 林 央周, 桑山直也, 遠藤俊郎, 武者利光, 松崎晴康: 頸動脈狭窄症に対するニューロン機能異常性マッピング法を用いた神経活動の評価. 第 75 回日本脳神経外科学会中部支部学術集会, 2008, 10, 25, 金沢.
- 64) 高 正圭, 林 央周, 壺井祥史, 永井正一, 栗本昌紀, 野口 京, 遠藤俊郎: 海綿静脈洞サンプリングによって診断し得た嚢胞性病変を合併した Cushing 病の一例. 第 75 回日本脳神経外科学会中部支部学術集会, 2008, 10, 25, 金沢.
- 65) 壺井祥史, 栗本昌紀: グリオーマ細胞における NF $\kappa$ B 活性化の抑制はオートファジーを誘導し放射線感受性を増強する. 第 67 回日本癌学会学術総会, 2008, 10, 28-30, 名古屋.
- 66) 桑山直也: マイクロプレックスコイルの基本性能と臨床経験. 第 24 回日本脳神経血管内治療学会, 2008, 11, 13-15, 名古屋.
- 67) 久保道也, 桑山直也, 山本博道, 秋岡直樹, 遠藤俊郎: isolated sinus を呈する横・S 状静脈洞部硬膜動静脈瘻の治療. 第 24 回日本脳神経血管内治療学会, 2008, 11, 13-15, 名古屋.
- 68) 永尾征弥, 久保道也, 松村内久, 柴田 孝, 榮楽直人, 黒崎邦和, 堀江幸男, 桑山直也, 遠藤俊郎: 脳卒中センター開設後(血管内治療導入後)における前交通動脈瘤治療. 第 24 回日本脳神経血管内治療学会, 2008, 11, 13-15, 名古屋.
- 69) 久保道也, 堀江幸男, 松村内久, 柴田 孝, 榮楽直人, 黒崎邦和, 永尾征弥, 桑山直也, 遠藤俊郎: ICA paraclinoid aneurysm に対する血管内治療-working angle に関する検討. 第 24 回日本脳神経血管内治療学会, 2008, 11, 13-15, 名古屋.
- 70) 新井政幸, 桑山直也, 久保道也, 津村貢太郎, 山本博道, 岡本宗司, 榮楽直人, 遠藤俊郎: Angioguard XP の初期成績と Guardwire との比較. 第 24 回日本脳神経血管内治療学会, 2008, 11, 13-15, 名古屋.
- 71) 高岩亜輝子\*, 桑山直也, 林 央周, 秋岡直樹, 遠藤俊郎: 無症候性頸動脈狭窄症における認知機能-無症候性頸動脈狭窄症は無症候か?. 第 24 回日本脳神経血管内治療学会, 2008, 11, 13-15, 名古屋.
- 72) 秋岡直樹, 桑山直也, 久保道也, 岡本宗司, 山本博道, 遠藤俊郎: 認知症を主症状とし, 治療後に改善を示した硬膜動静脈瘻症例についての検討. 第 24 回日本脳神経血管内治療学会, 2008, 11, 13-15, 名古屋.
- 73) 榮楽直人, 久保道也, 堀江幸男, 山本博道, 林 央周, 桑山直也, 遠藤俊郎: 塞栓術を行った後大脳動脈瘤 (P1 部) の 3 例. 第 24 回日本脳神経血管内治療学会, 2008, 11, 13-15, 名古屋.
- 74) 岡本宗司, 桑山直也, 秋岡直樹, 山本博道, 高岩亜輝子, 久保道也, 遠藤俊郎: 無症候性頸動脈ステント留置術の治療成績. 第 24 回日本脳神経血管内治療学会, 2008, 11, 13-15, 名古屋.
- 75) 山本博道, 桑山直也, 久保道也, 岡本宗司, 早川由美子, 遠藤俊郎: 頸動脈ステント留置術前後の血小板マーカー

の検討. 第 24 回日本脳神経血管内治療学会, 2008, 11, 13-15, 名古屋.

- 76) 竹田尚弘, 松井幹夫, 五十嵐進, 石崎宗一郎, 渡辺篤史, 二谷立介, 久保道也, 堀江幸男, 桑山直也, 遠藤俊郎: 3D-RA 撮影時の造影剤濃度による計測値の変化. 第 24 回日本脳神経血管内治療学会, 2008, 11, 13-15, 名古屋.
- 77) 松田 謙, 桑山直也, 山本博道, 岡本宗司, 久保道也, 遠藤俊郎: Mastoid emissary vein より経静脈的塞栓術を施行した硬膜動静脈瘻の 1 例. 第 24 回日本脳神経血管内治療学会, 2008, 11, 13-15, 名古屋.
- 78) 高岩重輝子\*, 桑山直也, 林央周, 秋岡直樹, 遠藤俊郎: 無症候性頸動脈狭窄症における認知機能-無症候性頸動脈狭窄症は無症候か?-. 第 32 回日本高次脳機能障害学会, 2008, 11, 19-20, 松山.
- 79) 中道尚美\*, 高嶋修太郎, 高岩重輝子, 旭 雄士, 浜田秀雄, 田中耕太郎, 遠藤俊郎: パーキンソン病の認知機能. 第 32 回日本高次脳機能障害学会, 2008, 11, 19-20, 松山.
- 80) 浜田秀雄, 林 央周, 梅村公子, 黒崎邦和, 遠藤俊郎: 疾患, 病態に応じた軟性鏡と硬性鏡の選択. 第 15 回日本神経内視鏡学会, 2008, 11, 21-22, 東京.
- 81) 林 央周, 浜田秀雄, 梅村公子, 黒崎邦和, 遠藤俊郎: 神経内視鏡手術手技修得のための解剖体を用いたトレーニングシステム. 第 15 回日本神経内視鏡学会, 2008, 11, 21-22, 東京.
- 82) 林 央周, 秋岡直樹, 浜田秀雄, 梅村公子, 黒崎邦和, 遠藤俊郎: Occipito-vertebral anastomosis を有する症例に対する内視鏡支援頸動脈内膜剥離術. 第 15 回日本神経内視鏡学会, 2008, 11, 21-22, 東京.
- 83) 梅村公子, 林 央周, 浜田秀雄, 黒崎邦和, 遠藤俊郎: 高次脳機能評価が有用であった LOVA の 1 例. 第 15 回日本神経内視鏡学会, 2008, 11, 21-22, 東京.
- 84) 栗本昌紀, 永井正一, 壺井祥史, 浜田秀雄, 林 央周, 遠藤俊郎: 再発悪性神経膠腫に対する boost 定位放射線治療 (SRS あるいは SRT) の adverse effects. 第 26 回日本脳腫瘍学会, 2008, 11, 30-12, 2, 松山.

#### ◆ その他

- 1) Kuwayama N.: Current status of endovascular treatment. Cairo education course, 2008, 12, 24, Egypt.
- 2) Kuwayama N.: Endovascular treatment of dural AVF. Cairo education course, 2008, 12, 24, Egypt.
- 3) 桑山直也: AngioGuard を使用した CAS の保健償還について. 第 16 回北陸 IVNR 研究会, 2008, 1, 12, 金沢.
- 4) 山本博道, 桑山直也, 秋岡直樹, 佐藤 光, 遠藤俊郎: GDC360°の使用経験. 第 16 回北陸 IVNR 研究会, 2008, 1, 12, 金沢.
- 5) 久保道也, 栄楽直人, 松村内久, 柴田 孝, 梅村公子, 宮島 謙, 堀江幸夫, 桑山直也, 遠藤俊郎: 頸動脈ステント術前における CTA を用いた大動脈強化の有効性-コレステリン塞栓症予防の観点から-. 第 16 回北陸 IVNR 研究会, 2008, 1, 12, 金沢.
- 6) 新井政幸, 山本博道, 秋岡直樹, 久保道也, 松田 謙, 桑山直也: Angioguard XP の使用経験. 第 16 回北陸 IVNR 研究会, 2008, 1, 12, 金沢.
- 7) 秋岡直樹, 桑山直也, 山本博道, 佐藤 光, 遠藤俊郎: 重度の認知症で発症し, 血管内治療後著明な改善を認めた硬膜動静脈瘻の 1 例. 第 16 回北陸 IVNR 研究会, 2008, 1, 12, 金沢.
- 8) 松田 謙, 桑山直也, 山本博道, 秋岡直樹, 遠藤俊郎: Emissary vein より経静脈的側戦術を施行した硬膜動静脈瘻の 1 例. 第 16 回北陸 IVNR 研究会, 2008, 1, 12, 金沢.
- 9) 中山八州男, 林 央周, 桑山直也, 遠藤俊郎: 国内大学病院ウェブサイトにおけるアクセシビリティ調査. 第 17 回日本脳神経外科コンピュータ研究会, 2008, 1, 26, 松本.
- 10) 桑山直也: 脳梗塞の血管内治療. 奈良県桜井地区医師会学術講演会, 2008, 1, 26, 橿原.
- 11) 旭 雄士: 定位・機能神経外科治療の最新ガイドラインの富山大学における治療の現状. 第 4 回富山県神経内科医学会研究会, 2008, 1, 30, 富山.
- 12) 桑山直也: CAS の脳虚血性合併症とその対策. CCT2008, 2008, 1, 31, 神戸.
- 13) 桑山直也: JCAS Study と頸動脈ステント留置術. 第 3 回 Stroke Management Forum in Chiba, 2008, 2, 1, 千葉.
- 14) 永井正一, 栗本昌紀, 浜田秀雄, 林 央周, 遠藤俊郎: ここ 2 年間で経験して中枢神経系悪性リンパ腫. 第 19 回石打カンファレンス, 2008, 2, 10, 長野.
- 15) 佐藤 光, 林 央周, 遠藤俊郎, 神林智作, 岩井良成: 段違いを簡便に補正できる skin stapler 閉創法. 第 31 回日本整容脳神経外科研究会, 2008, 2, 22, 東京.
- 16) 堀 聡, 栗本昌紀, 浜田秀雄, 永井正一, 林 央周, 遠藤俊郎: 脊髄空洞症を呈した骨 Paget 病の 1 例. 第 3 回富山脊椎脊髓画像診断研究会, 2008, 2, 22, 富山.
- 17) 中道尚美\*, 高岩重輝子, 高嶋修太郎, 田中耕太郎, 旭 雄士, 遠藤俊郎: パーキンソン病の精神機能について. 第

12 回富山認知症研究会, 2008, 2, 23, 富山.

- 18) 遠藤俊郎, 林 央周, 栗本昌紀: 富山県における脳神経外科疾患とその外科治療. 第 62 回富山県医学会, 2008, 3, 1, 富山.
- 19) 桑山直也, 遠藤俊郎: JCAS study と頸動脈ステント術. 広島脳神経外科講演会, 2008, 3, 6, 広島.
- 20) 栗本昌紀, 堀 聡, 浜田秀雄, 永井正一, 林 央周, 遠藤俊郎: 脊髄空洞症を呈した骨 Paget 症の一例. 第 40 回中部脊髄外科ワークショップ, 2008, 3, 15, 名古屋.
- 21) 林 央周, 佐藤 光, 栗本昌紀, 遠藤俊郎: 小脳テントに広範囲にわたって伸展した神経鞘腫の 1 例. 第 24 回東海頭蓋底外科研究会, 2008, 3, 15, 名古屋.
- 22) 桑山直也: Angioguard XP システムの問題点. 第 1 回 CAS プロクターミーティング, 2008, 3, 23, 京都.
- 23) 桑山直也, 遠藤俊郎: JCAS study と頸動脈ステント術. 第 4 回川薩地区 stroke セミナー, 2008, 3, 28, 鹿児島.
- 24) 桑山直也: Angioguard X-P を用いた頸動脈ステント術. 名古屋 CAS REC イベント, 2008, 3, 30, 名古屋.
- 25) 桑山直也: Angioguard XP を用いた CAS. 第 1 回 JAPAN Endovascular Treatment, 2008, 4, 11, 東京.
- 26) 旭 雄士: 富山大学におけるパーキンソン病に対する脳深部刺激療法の現状-よりよい治療効果を得るために-. 富山県パーキンソン病フォーラム, 2008, 6, 6, 富山.
- 27) 桑山直也: Trufill DCS orbit コイルの基本性能と症例紹介. orbit トレーニング/評価会, 2008, 6, 22, 須賀川.
- 28) 岡本宗司, 桑山直也, 久保道也, 遠藤俊郎: emissary vein を穿刺して治療した硬膜動静脈瘻の一例. 第 9 回脳血管内治療琉球セミナー, 2008, 6, 27, 沖縄.
- 29) 桑山直也: 硬膜動静脈瘻入門. 済生会富山病院 脳卒中合宿セミナー, 2008, 7, 12, 富山.
- 30) 桑山直也: 硬膜動静脈瘻の血管内治療. 第 5 回 Aichi 脳血管内外科フォーラム, 2008, 8, 17, 名古屋.
- 31) 栗本昌紀, 遠藤俊郎: Awake surgery の手術手技-Awake state と手術-. 第 6 回日本 Awake Surgery 研究会, 2008, 8, 23, 東京.
- 32) 岡本宗司, 桑山直也, 山本博道, 遠藤俊郎: ガイディングカテーテルの誘導, 保持に Goose neck snare を用いた症例. 第 30 回中部地区脳神経血管内手術懇話会, 2008, 8, 23, 高山.
- 33) 桑山直也: CAS 時のガイディング留置困難例, CAS 時の Angioguard 通過困難例. 第 2 回東京脳卒中の血管内治療セミナー, 2008, 8, 29, 東京.
- 34) 栗本昌紀, 西尾陽一, 永井正一, 山本博道, 林 央周, 遠藤俊郎: C5 神経根に発生した schwannoma, 第 41 回中部脊髄外科ワークショップ, 2008, 8, 30, 名古屋.
- 35) 桑山直也: 頸動脈血行再建術の最近の情報. ストロークフォーラム イン 呉西, 2008, 9, 19, 高岡.
- 36) 秋岡直樹, 桑山直也, 林 央周, 山本博道, 高岩亜輝子, 遠藤俊郎: 頸部内頸動脈狭窄症における高次脳機能と SPECT 所見の検討. 第 15 回富山県臨床核医学研究会, 2008, 9, 26, 富山.
- 37) 旭 雄士: 富山大学におけるパーキンソン病と慢性頑性疼痛の手術治療経験. 脳・脊髄刺激療法座談会, 2008, 10, 16, 高岡.
- 38) 永尾征弥, 久保道也, 桑山直也: 経静脈的塞栓術を施行した Anterior Condylar Confluence dAVF の 1 例. Meet the Specialist (2nd) in Toyama, 2008, 10, 17, 富山.
- 39) 林 央周: 神経内視鏡的治療の現状と脳卒中治療への応用. 第 60 回三重脳神経外科集談会, 2008, 10, 31, 津.
- 40) 遠藤俊郎: CEA の意義と技量伝承. 第 9 回頸動脈病変治療研究会, 2008, 10, 31, 大阪.
- 41) 遠藤俊郎: 新時代を迎えた頸動脈治療. 脳卒中の治療の進歩と変革-学術講演会-, 2008, 11, 7, 富山.
- 42) 栗本昌紀, 永井正一, 浜田秀雄, 林 央周, 桑山直也, 遠藤俊郎: 前屈位の頭蓋頸椎移行部後方固定術直後に気道閉塞をきたした 1 例. 第 13 回関西脳神経外科手術研究会, 2008, 12, 20, 大阪.